

平成20年度 事業評価書

地 域 名	宮城県塩竈市	選定年度	H17年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	グローバル・エコシティ塩竈推進協議会				
モデル事業名	魚のまち塩竈地域エネルギー好循環形成事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H17年度	普及啓発事業等として、BDFの利活用によるイベントや環境セミナー等を開催。また、バイオマスモデル事業として、廃食用油回収方法の検討などを実施。
		H18年度	—
		H19年度	環境意識醸成事業として、エコdeスマイルコンテストへ参加し、本事業のPRを行ったほか、塩竈市の環境問題取り組み状況を紹介する環境パネル展の実施のほか、BDF製造工場の見学及び施設概要や製造工程等を紹介し、本事業のPRを行った。
	事業終了後	平成20年度	環境意識醸成事業として、塩竈市と共催で環境パネル展を実施。
交付金事業	事業期間	H17年度	バイオディーゼル燃料化事業として、揚げかまぼこの生産過程から発生する廃食用油をBDFに再生。
		H18年度	—
		H19年度	—
	事業終了後	平成20年度	事業期間終了後のため、事業は実施していない。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	バイオディーゼル燃料化事業は、地場産業の企業が主体となり事業を展開するもので、練り製品（揚げ蒲鉾）生産高が日本一である水産加工業から排出される廃食用油を高品質なバイオディーゼル燃料に再生し、市の公用車及び運輸流通関連企業が利用するもので、地域の特色を活かした地場産業に直接関連する環境と経済の好循環の取組として注目される。		
②環境保全効果 （二酸化炭素排出削減効果等）	二酸化炭素排出削減効果		備 考
	目 標 値	1,414	H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実 績 値	585.7	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績
	（目標値・実績値単位：t-CO2／年）		
	二酸化炭素排出削減効果は得られているが、目標に達しているとは言えないため、今後は製造したBDFの販路拡大を行い、製造量に見合った販売量を確保すること等により、目標に近づくよう努力されたい。		
③経済活性化効果	一定の収益は得られているものの、販売の遅れにより、予定通りの事業収益や波及効果等は得られていない。今後のBDF生産量及び販売量の増加により、さらなる収益増や雇用創出を期待する。		
④その他			